

2017年度 (2018年3月31日現在) 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金及び預貯金	35,065	保険契約準備金	16,083
預貯金	35,065	支払備金	218
有価証券	2,455	責任準備金	15,864
社債	2,224	再保険借	54
株式	30	その他負債	10,729
外国証券	200	未払法人税等	7
有形固定資産	213	未払金	47
リース資産	0	未払費用	6,877
その他の有形固定資産	213	預り金	1
無形固定資産	2	リース債務	0
ソフトウェア	2	仮受金	3,794
その他の無形固定資産	0	価格変動準備金	4
再保険貸	6,138	繰延税金負債	0
その他資産	1,102	負債の部合計	26,871
未収金	784	<b>(純資産の部)</b>	
前払費用	3	資本金	27,599
未収収益	2	資本剰余金	19,599
預託金	163	資本準備金	19,599
仮払金	8	利益剰余金	△ 29,093
その他の資産	140	その他利益剰余金	△ 29,093
貸倒引当金	△0	繰越利益剰余金	△ 29,093
		株主資本合計	18,106
		その他有価証券評価差額金	0
		評価・換算差額等合計	0
		純資産の部合計	18,106
<b>資産の部合計</b>	<b>44,977</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>44,977</b>

(貸借対照表の注記)

- 1 有価証券の評価は、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法（定額法）、  
 其他有価証券のうち時価のあるものについては3月末日の市場価格等に基づく時価法（売却  
 原価の算定は移動平均法）、時価を把握することが極めて困難と認められるものについて、取  
 得差額が金利調整差額と認められる公社債については移動平均法による償却原価法（定額法）、  
 それ以外の有価証券については移動平均法による原価法によっております。  
 なお、其他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。
- 2 固定資産の減価償却の方法は、次のとおりであります。
  - ① 有形固定資産（リース資産を除く。）  
 定率法によっております。
  - ② リース資産  
 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
 リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとした定額法によっております。
  - ③ 無形固定資産（リース資産を除く。）  
 ソフトウェア  
 利用可能期間に基づく定額法によっております。
- 3 貸倒引当金は、債権の貸倒れによる損失に備えるため、当社の定める「資産査定規程」、「同基  
 準書」、「償却及び引当金計上規程」および「同基準書」に基づき、次のとおり計上してござ  
 います。  
 個別債権ごとに査定し、回収可能性に重大な懸念があると判断した債権または重大な価値の毀  
 損が生じていると判断した債権については必要と認められる額を引当てております。
- 4 価格変動準備金は、保険業法第 115 条の規定に基づき算出した額を計上しております。
- 5 消費税および地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。
- 6 責任準備金は、保険業法第 116 条の規定に基づく準備金であり、保険料積立金については次の  
 方式により計算しております。
  - ① 標準責任準備金の対象契約については金融庁長官が定める方式（平成 8 年大蔵省告示第 48  
 号）
  - ② 標準責任準備金の対象とならない契約については、平準純保険料式
- 7 当社は、適正な収益管理とリスク管理を実施し、資産運用における事業の健全性維持という観  
 点から、リスク管理の強化に努め、投資環境と運用の多様化に即応した効率的な運用を目指す  
 ことを基本方針としております。この方針に基づき、安全性・換金性（流動性）に留意し、運  
 用してまいります。  
 なお主な金融商品として、有価証券は市場リスクおよび信用リスクに晒されております。  
 市場リスク管理については、代表的な計測手法であるバリュー・アット・リスク（V a R）手  
 法を用いて市場リスク量を計測し、管理を行っております。また、信用リスクについては、個  
 別の投資先について定期的に信用状況を調査し、管理を行っております。  
 主な金融資産に係る貸借対照表計上額、時価およびこれらの差額については、次のとおりであ  
 ります。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預貯金	35,065	35,065	—
(2) 有価証券	2,425	2,439	14
満期保有目的の債券	2,324	2,339	14
その他有価証券	100	100	—

非上場株式は時価を把握することが極めて困難と認められるため有価証券に含めてお  
 りません。当該非上場株式の当期末における貸借対照表価額は 30 百万円であります。

(1) 現金及び預貯金

時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券

3月末日の市場価格等によっております。

- 8 有形固定資産の減価償却累計額は206百万円であります。
- 9 関係会社に対する金銭債権の総額は1百万円であります。
- 10 繰延税金資産の総額は、6,502百万円、繰延税金負債の総額は、0百万円であります。繰延税金資産は全額評価性引当額として控除しております。  
繰延税金資産の発生の主な原因は、保険契約準備金224百万円、減価償却超過額1,383百万円、繰越欠損金4,869百万円であります。  
繰延税金負債の発生は、その他有価証券の評価差額によるものであります。  
当年度の法人税等の負担率は $\Delta 0.10\%$ であり、法定実効税率28.24%との差異の主な内訳は、評価性引当額 $\Delta 28.18\%$ であります。
- 11 保険業法施行規則第73条第3項において準用する同規則第71条第1項に規定する再保険を付した部分に相当する支払備金（以下「出再支払備金」という。）は該当ありません。また、同規則第71条第1項に規定する再保険を付した部分に相当する責任準備金（以下「出再責任準備金」という。）の金額は52百万円であります。
- 12 1株当たりの純資産額は、6,624円43銭であります。
- 13 保険業法第259条の規定に基づく生命保険契約者保護機構に対する当年度末における当社の今後の負担見積額は67百万円であります。  
なお、当該負担金は拠出した年度の事業費として処理しております。
- 14 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

2017年度 2017年4月1日から  
2018年3月31日まで 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益	24,655
保険料等収入	24,598
再保険収入	18,414
資産運用収入	6,184
利息及び配当金等収入	10
有価証券利息・配当	9
有価証券売却益	9
貸倒引当金戻入	0
その他経常収益	0
その他の経常収益	46
経常費用	32,944
保険金等支払金	1,707
給付返戻金	968
解約返戻金	572
その他の返戻金	0
再保険料	14
責任準備金等繰入額	150
支払準備金繰入額	14,278
責任準備金繰入額	64
資産運用費用	14,213
支払利息	0
事業経常費用	16,786
その他の経常費用	171
税減その他経常費用	99
償却費用	71
その他の経常費用	0
経常損失	8,288
特別利益	3
価格変動準備金戻入額	3
特別損失	13
固定資産等処分損	13
税法引前当期純損失	8,298
法人税及び住民税	8
法人税等合計	8
当期純損失	8,306

(損益計算書の注記)

- 1 関係会社との取引による、費用の総額は11百万円であります。
- 2 有価証券売却益の内訳は、国債等債券0百万円であります。
- 3 支払準備金繰入額の計算上、足し上げられた出再支払準備金戻入額の金額は 20 百万円であります。責任準備金繰入額の計算上、足し上げられた出再責任準備金戻入額の金額は0百万円であります。
- 4 1株当たりの当期純損失の金額は 3,101円15銭であります。

5 関連当事者との取引は以下の通りであります。

(百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)の割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	第一生命ホールディングス株式会社	被所有 直接 100%	第一生命グループ持株会社 役員の兼任等	増資の引受 (注1)	4,999	—	—
親会社の子会社	第一生命保険株式会社	なし	役員の受入 出向者の受入等	出向負担金の支払(注2)	2,120	—	—
				保険販売事務等に係る業務受託料の受取(注3)	6	未収金	0
親会社の子会社	第一フロンティア生命保険株式会社	なし	役員の兼任	コンピュータシステム利用許諾料の受取(注3)	36	—	—

(注1) 当社の行った第三者割当増資を、第一生命ホールディングス株式会社が1株につき15千円で引き受けたものであります。

(注2) 当社への出向者の人件費を勘案し決定しております。

(注3) 価格その他の取引条件は、市場実勢、類似取引を勘案し決定しております。取引金額には消費税等を含めております。

6 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。